



HB-style

Vol. 23 1月号

## OB / OG 訪問 迎川 豊

研究室のムードメーカーな存在として知られる迎川豊さん取材しました。

ページ 2



## ウォーキングコース体験

広い広い広島大学。散歩するにも色んなコースがあるの知ってた？

ページ 3



## 光物性研究室カレンダー

新たな年、2011年1月。卒論と修論の提出（2月）に向けて研究のまとめや発表練習が本格化した。

ページ 4

# 光物性 OB/OG 訪問

株式会社テラプローブ テスト技術エンジニア

## 迎川 豊

YUTAKA MUKAEGAWA



### - 自己紹介をお願いします

H 17 ~ H 19 年度に光物性研究室に在籍していました迎川豊です。現在は株式会社テラプローブで半導体デバイスのテスト技術エンジニアをしています。

### - 光物性研究室での思い出をお聞かせ下さい

一番の思い出は、北海道で開かれた日本物理学会に研究室メンバーと一緒に参加したことです。なんせ北海道なので「絶対発表してやる!」と思い定め、実験をして結果を出しました。印象的だったのは、北海道までの道のりを車とフェリーで行ったことです。まるで修学旅行のように、フェリーでも宿でもバカ騒ぎをして楽しみました。当時のメンバーでまた北海道へ行ってみたいですね。

### - 研究の息抜きはどうされていましたか?

よく遊ぶことです。好きなことをして日々の緊張した気持ちをほぐしてやるのが重要です。私でしたら、友人と



お酒を飲んだり、週末にキャンプや小旅行にでかけたりしました。研究とプライベートにメリハリをつけ、集中して研究に取り組みました。社会人となった現在も物事のメリハリを意識して行動しています。

### - 現在のお仕事について教えてください

パソコン等に用いられる半導体デバイスは高密度化が進み、現在では一枚のウエハから百個以上のメモリを作ることができます。実は、製造されたメモリには個性があり、性能基準に達しない物やギリギリ越える物、十分に

クリアできる物など様々です。基準が厳しいと製造コストが増え、甘いと不良品等のクレームの対象となります。私はその基準を設定し、最適なコストパフォーマンスで製造されるよう監視する仕事をしています。私の決める基準次第ではオペレーターの方々の負担が増えたり、物流が変化するため常に慎重を期して取り組んでいます。とてもやりがいのある仕事です。デバイス業界は進展が早いので勉強も欠かせません。光物性研究室で身につけた論理的な思考力は、業界の波を乗りこなす最大の武器になっています。

### - 研究室の後輩へ向けてメッセージをお願いします

研究だけではなく、多くの事柄に興味を示し取り組んで欲しいと思います。そして、自分の長所と短所を認識して、研究や就活や遊びなどを楽しんで下さい。自然と自分の進む道が見えてくると思います。期待しています。



### 取材を終えて

迎川先輩は 研究室のムードメーカーな存在だと伺っていましたが、本当でした。懐が大きくおらかな性格で、私の質問に冗談を交えながら答えてくださいました。久しぶりにお腹を抱えて笑いました。仕事に対する真っすぐな考えや研究と遊びのメリハリなど、今後の自分にとっても参考になりました。

M2 黒田 健太

# 広島大学東広島キャンパス 「ウォーキングコース」

広大な敷地面積を誇る広島大学にはスポーツ科学センターが設置した「ウォーキングコース」がある。教職員のリフレッシュと健康維持のためとあるが、何言ってるんだ、俺たち学生だってヤバいんだぞ・・・。



総合科学部と工学部のちょうど真ん中を流れる川を横目に奥へ奥へ。橋のたもとに第三チェックポイント発見。深呼吸と伸びをして休憩しよっかな。



スタート地点は法人本部前。骨太コース(約 1.5 km)、爽快コース(約 2.5 km)、健脚コース(約 4.0 km)の3つがある。今回は、距離の短い「骨太コース」へ♪



サタケメモリアルホール前に看板を発見。そうそう、歩く姿勢が重要なんだ。あごを引いて背筋を伸ばして、かかとから着地ってネ。



ここからは階段を登り工学部へ。何とも不思議な空間。まるで海辺へ通じる松林を抜けているような感じ。こんな場所ってあるんだね。

ぶどう池がよく見える。広大マスコットにネッシーならぬ「ブッ

シー」なんてのもいいね。法人本部が見えてきた。いよいよ終盤。夕日を浴びながらウォーキング♪

キャンパス内で「地殻断層」を見ることができる！広いだけあって何でもあるや。何年ぶりだろうか、総合科学部。



第二チェックポイント発見。骨太コースは意外とアップダウンあるは。ん？何か不思議なオブジェやな。「地殻 シルリアの海」って、芸術の世界は奥が深い・・・。



「ゴール♪」

約 1.5 km。ゆっくり歩いて 30 分くらい。広大のいい所を再発見できるね。ほんとリフレッシュやストレス解消にいい。楽しかった♪

スポーツ科学センターのホームページにはその他のウォーキングコースや歩く姿勢に関する解説が掲載されています。ぜひお確かめください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/huiss/walking/>

M2 黒田 健太

# 2011年1月 光物性研究室カレンダー

## 1月7日(金)～10日(月) 第24回日本放射光学会年会

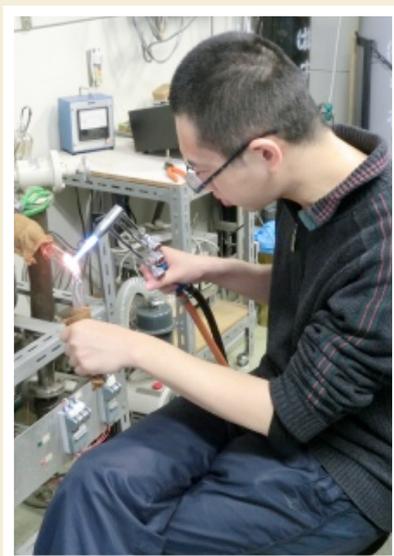
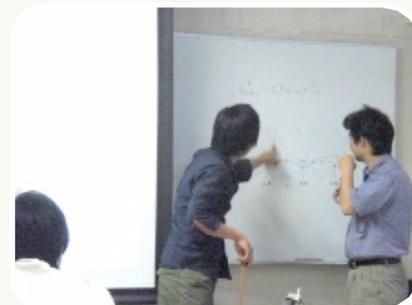
1月7日から10日にかけて、第24回日本放射光学会年回がつくば国際会議場にて開催された。光物性研究室からはD2の中島、Ye、M2の黒田、古本、M1の長門が参加し、口頭発表やポスター発表を行った。

参考 URL : <http://www.jssrr.jp/jsr11/>



## 1月13日(木) 修論・卒論提出者による直前発表が始まる

修士論文と卒業論文の提出予定者による直前発表会が1月13日から始まった。これまで実験や解析を行ってきた研究をまとめ発表し、スタッフや研究室メンバーと意見交換をする。議論を通じて構成を見直したり、広い視野とプレゼンテーション能力を鍛えるのが目的である。



## 今月の表紙

昨年10月に中国から光物性研究室へ留学してきた朱思源くん。自身の研究が本格化し実験室で試料を作っていました。日本の環境にも慣れ、研究が面白く毎日が楽しいとおっしゃっていました。左の写真は、試料を入れた石英管をガスバーナーで熱し、真空封入している様子です。今後のご活躍を期待しております。

### 編集部からのお知らせ

#### スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

#### 企画の募集

取り上げてほしい企画やテーマを募集しています。気軽にお寄せください。

#### 今後の企画について

「光物性 OB / OG 訪問」、  
「Igor」、「光物性七不思議」、  
「HISOR II 計画の現状」、などの  
トピックを考えています。

#### 発行予定について

毎月の発行を予定していますが、  
作者の都合により遅延、または休  
刊となる場合があります。ご了承  
ください。

企画・編集 : 安齋太陽 (写真中)  
編集協力 : 古本一仁 (右)、黒田  
健太 (左)

